



「ふくしのまちづくり」 すすめています!

～福祉活動専門員 編～



勝山中学校での福祉学習(車いす体験)

社会福祉協議会で「ふくしのまちづくり」を中心になって 進めていく「福祉活動専門員」を紹介します。

「福祉活動専門員」ってなに？

市区町村の社会福祉協議会で働いている専門職で、地域住民みなさんに共通の生活課題、福祉課題に地域住民と一緒に取り組み、課題改善・解決に結びつけていく支援をします。

真庭市社協にはどれくらいいるの？

本所・各支所合わせて9名配置されています。

どんな活動をしているの？

子育て世帯や高齢者世帯、生活困窮世帯、障がいのある人への支援など、課題を抱える人と接して、ご本人、関係機関と一緒に改善に向けて相談支援をしています。

また、地域の方や、ボランティア団体、行政、福祉・医療機関などと連携し、あらたな事業について調査や企画を行ったり、広報や指導など、さまざまな場面で「ふくしのまちづくり」を推進しています。



次のページで、勝山支所の川口福祉活動専門員の活動の様子を紹介します!

「福祉活動専門員」の活動紹介 ～勝山支所 川口福祉活動専門員の場合～



川口福祉活動専門員
地域福祉課 所属
令和3年に入職
勝山支所担当：2年目

地区社協やボランティアなど 地域福祉活動を進めます



地区社協の助けあい会議に参加

地域の住民の皆さんが中心となって行っている地域福祉活動は「誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らすために」大切な活動です。

その活動が継続的に実施できるように、一緒に地域課題を把握し解決に向けて取り組んだり、情報交換・意見交換がしやすい体制づくりなどを実施します。

「助けあい会議」は、地域の課題や見守りについて地域と社協が共有する場です。地区社協役員や福祉委員、民生委員、協力会員、社協職員などが参加し、年2回、地区社協ごとに開催します。



しんまちサロンで情報提供

熱中症予防、転倒のリスクなどについて情報提供しました。レクリエーション用具の貸出や講師の調整、助成金や書類の書き方の相談も受け付けます！



福祉についての理解を広めます



勝山中学校で福祉学習

主に、市内の小中高校に出向き、高齢者疑似体験や車いす体験などを実施します。身近な人々や地域との関わりをとおして、地域の福祉課題に気づき、課題解決について行動する力、「福祉のこころ」を育みます。

ふれあい・いきいきサロンなど、地域活動団体からの希望も受け付けています。

相談や困りごとを受け付けます



「とみはらモバイルBASE」でふくし巡回相談

暮らしの様々な相談や困りごとを受け付けます。相談の内容に応じて、困りごとの解決に向けて助言をしたり、情報提供、関係機関へのつなぎ、福祉・医療関係者と一緒に関りごとの解決に向けて支援をします。

「とみはらモバイルBASE」は、毎月1回、月替わりで富原地区内3会場をまわり、買い物支援をする取り組みです。開催日には日常のちょっとした困りごとを相談できる「ふくし巡回相談」も行っています。



川口福祉活動専門員にインタビュー

■仕事をしていて大変なことは？

人の名前を覚えるのが苦手なので、何度も訪問してお会いして覚えるように努力しています。

■仕事をしていてよかったと思うことは？

地域の色々な人との出会いがあり、関わりを持ちながら仕事ができているありがたいです。関わりを持った方やサロンなどの出先で『ありがとう』と感謝されることがあり、やりがいを感じます。

皆さまの善意が福祉活動に活かされています

善意銀行だより

【敬称略・受付順】

※真庭市社協への個人からの寄付は税額控除対象となります。

寄付金 六月三十日

合計 五十三万五千元

【本所】

- 矢吹 勝美(余野上) 香典返し
- 妹島 仁美(富尾) 香典返し
- 野村 良雄(久世) 香典返し
- 村松 浩二(目木) 忌明け
- 藤本 雅司(惣) 忌明け
- 高井 光弘(草加部) 香典返し
- 二宗 仁史(目木) 香典返し
- 神尾 文江(榎西) 忌明け
- 難波真由美(久世) 香典返し

【北房支所】

- 永田 和成(五名) 忌明け
- 坂本文太郎(下中津井) 見舞返し

【落合支所】

- 景谷 寿夫(関) 香典返し
- 五箇 渡(野川) 篤志寄付(車いす)

【湯原支所】

- 湯浅 勇巳(西原) 香典返し
- 大久保和子(西河内) 香典返し
- 森岡 淳子(法界寺) 忌明け
- 石原 政典(関) 香典返し
- 大槓富美男(栗原) 香典返し
- 山崎 圭介(一色) 香典返し
- 小林 祐介(日名) 香典返し
- 内藤 敏証(落合垂水) 香典返し
- 東院 好子(落合垂水) 香典返し

- 亡 横山 豊一
- 杉井 一彦(勝山) 忌明け

【勝山支所】

- 綱島 慶子(上郷) 香典返し
- 地面 啓三(本郷) 香典返し
- 松崎 泰憲(江川) 香典返し
- 亡 浅田 知弘
- 浅田 宜弘(福谷) 忌明け
- 山根 卓夫(勝山) 香典返し
- 中川早智子(柴原) 香典返し
- 中川早智子(柴原) 忌明け
- 太田 修清(谷) 香典返し

【湯原支所】

- 山邊 敏彦(本庄) 篤志寄付
- 山谷 弘通(藤森) 香典返し
- 亡 西田 茂
- 西田 孝司(粟谷) 香典返し
- 西田 孝司(粟谷) 忌明け

【中和支所】

- 実原美代子(森山下和) 香典返し

【八束支所】

- 長綱 功(森山上畠田) 香典返し
- 柴田 雅弘(森山上畠田) 香典返し

災害義援金寄付者一覧

【敬称略】(6月30日)

◆令和6年能登半島地震災害義援金(石川県)

- 池田 宗弘

心配ごと相談所(8月の予定)

※相談無料、予約不要です。秘密は固く守られます。

北房(真庭市役所北房振興局)	22日(木)	9時~12時
落合(落合老人福祉センター)	8日(木)	
久世(真庭市役所本庁舎)	28日(水)	
勝山(勝山保健福祉センター)	2日(金)	9時~12時
美甘(真庭市役所美甘振興局)	6日(火)	
湯原(湯原保健福祉センター)	15日(木)	
川上(川上老人福祉センター)	2日(金)	

電話(0867)42-1005 FAX(0867)42-2263

善意銀行へのご寄付をありがとうございました。

ご寄付は社会福祉協議会の各種社会福祉事業へ活用させていただきます。

【お詫びと訂正】

真庭市社協だより7月号「善意銀行だより」に掲載いたしました。訂正してお詫び申し上げます。

誠に申し訳ありませんでした。

- 亡 浅田 知弘
- 浅田 宣弘(福谷) 香典返し

- 亡 浅田 知弘
- 浅田 宜弘(福谷) 香典返し

「善意銀行」って



善意銀行は、地域のみなさんの善意の寄付(金銭や物品などの寄付)を真庭市社協がお受けし、必要とされる方や福祉事業等へ払出しを行う仕組みの事です。

この仕組みが銀行と似ているため、「銀行」という名前がついています。

① 金銭の寄付

香典返しや忌明け、冠婚葬祭などの節目やチャリティなどの収益金の一部の寄付、善意寄付など。

※個人の方からの寄付は、所得税や住民税の控除を受けられることができます。また、法人からの寄付は法人税法上の損金算入ができます。詳しくは税務署にお問合せください。

② 物品の寄付

車いすや衛生用品など ※受付できないものもありますので、事前にお問合せください。

③ いくら寄付があるの?

令和5年度は、507件、総額8,169,671円の寄付をお寄せいただいています。

寄付金は、何に使われるの?

真庭市社協への寄付は、左記の活動に活かされています。善意銀行で、真庭の福祉を応援してください。

小銭貯金や記念日のお祝いの気持ちを寄付してみませんか?



生活困窮者への相談支援・食品の提供



市内ボランティア活動団体の支援



福祉機器の無料貸出・整備



地域に元気を届けたい メッセージカード作成 ボランティア



市内の子育てサロン・つどいの広場（アカ所）の参加者に、親子で一緒にメッセージカードを作成するボランティア活動へご協力いただいています。

このボランティアは、コロナウイルス感染症の影響で、地域の交流活動が減少したり、外出の機会・人とのつながりが少なくなっていた令和5年度に始めました。地域で暮らしている高齢者がつながりを絶やさず、明るい気持ちを持ってもらえるように、デザインを定期的に変え、地域の訪問活動や配食に合わせてお届けしています。



完成したメッセージカード

「メッセージカードのお届けに密着」

7月5日（金）、湯原地区の民生委員 池田 実さんが、※救急医療情報キット更新の訪問に合わせ、メッセージカードをお届けしてくださりました。



かわいらしいカード。
元気で長生きできるように頑張りますと、伝えてください！

また寄るけん、顔見せてえよ。
暑いから、身体に気を付けて！



※「救急医療情報キット」とは？

高齢者や障がいのある方などの安全・安心を確保することを目的に、救急時に役立つ情報を容器にまとめたものです。容器の中に「緊急連絡先」「かかりつけ医」「薬剤情報」「持病」「健康保険証」などの情報を入れ、冷蔵庫の中に保管します。

よりよいふくへのまちづくりを目指して

「第4次地域福祉活動計画」の見直しを行っています。

7月1日（月）久世公民館で第4次※地域福祉活動計画の評価委員会を開催しました。

この委員会は、中間年にあたる「地域福祉活動計画（実施期間：令和4年～8年度）」の活動を振り返り、また、より地域の状況に応じた活動を推進できるよう、見直しを行うものです。



委員会には、美作大学の小坂田 稔特任教授をはじめ、日頃から各地区・分野で活動を行う6名の委員に参加いただき、活動の評価を受けました。見直し後の計画は、令和6年度末に完成予定です。この計画に基づいて住民の皆さんや、福祉関係団体、民生委員・児童委員、ボランティア等と社協が協力して「すべての市民が安心して暮らせる地域社会」を目指していきます。



丁寧に事業の評価をしてもらいました

※「地域福祉活動計画」とは？

「誰もが安心して暮らせる地域づくり」をめざし、地域福祉を推進する団体として位置づけられた社会福祉協議会の呼びかけで、地域住民、地域内の団体や機関、社会福祉に関する活動を行うもの、社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を営営するものが相互に協力して策定するものです。

広報担当のつぐやき

本格的に暑くなってきて、エアコンのありがたみを感じる日々です。エアコンを発明した人は偉大ですね。ちなみに、エアコンは1902年にアメリカで発明されたそうです。発明者に感謝。（井上）



真庭市社協HP